



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年4月30日

上場会社名 ソフトブレイン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4779 URL <http://www.softbrain.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 浩文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 木下 鉄平 TEL 03 (6880) 2600
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	1,332	8.6	102	△29.7	103	△28.5	42	△31.9
26年12月期第1四半期	1,226	24.3	145	87.2	144	92.5	62	31.3

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 54百万円 (△30.1%) 26年12月期第1四半期 77百万円 (44.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	1.45	-
26年12月期第1四半期	2.13	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第1四半期	4,090	3,065	64.9	90.79
26年12月期	4,145	3,011	63.0	89.34

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 2,656百万円 26年12月期 2,613百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
27年12月期	-	-	-	-	-
27年12月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,550	4.0	300	2.7	300	3.1	130	3.7	4.44
通期	5,400	9.4	650	14.3	650	12.3	300	18.7	10.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期1Q	30,955,000株	26年12月期	30,955,000株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	1,700,000株	26年12月期	1,700,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期1Q	29,255,000株	26年12月期1Q	29,255,000株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付制度「株式付与ESOP信託」に係る信託財産として、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口)が所有している当社株式(150,000株)を含めております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結業績は、

売上高	1,332百万円 (前年同期比 8.6%増)
営業利益	102百万円 (前年同期比 29.7%減)
経常利益	103百万円 (前年同期比 28.5%減)
当期純利益	42百万円 (前年同期比 31.9%減)

となりました。

当第1四半期連結累計期間では、主力事業である「eセールスマネージャー関連事業」と「フィールドマーケティング事業」を中心に売上高は堅調に推移いたしました。利益面におきましては、人材採用、販売促進・広告宣伝等への投資を強化したことにより、前年同期と比較して減益となりました。

各セグメントの業績については以下の通りです。

なお、当第1四半期連結累計期間より、従来、「その他」に含まれておりました「出版事業」の量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載しております。また、同じく「その他」に含まれておりました「iPad等を活用した業務コンサルティング及び教育事業」において、「eセールスマネージャー関連事業」に付帯する要素が高まったため、「その他」から「eセールスマネージャー関連事業」に含めることとしました。前年同期比については、前第1四半期連結累計期間の数値をセグメント変更後の数値に組み替えた上で比較を行っております。

1. eセールスマネージャー関連事業

スマートフォンやタブレット端末でも利用可能な「eセールスマネージャーRemix Cloud」の販売を中心に、「営業マン育成コンサルティング」をはじめとした営業コンサルティングサービスや、iPad等を活用した業務コンサルティング及び教育事業を提供しております。また、継続的な開発投資により、幅広い顧客ニーズに応えるべく努めております。当第1四半期連結累計期間においては、「使い勝手No.1」に向けたスマートフォンアプリ「eセールスマネージャーRemix Mobile」のデザイン刷新を2015年1月に実施いたしました。今後も継続的な開発を行い、「使い勝手No.1」を目指したソフトウェア強化を行い、さらなる競争力強化・事業拡大を目指しております。スマートデバイスの普及が市場ニーズを大きく高めている状況を踏まえ、開発投資のみならず、組織体制の強化を目的とした人材採用や、販売促進・広告宣伝への投資を強化しております。また、営業の課題解決にフォーカスした企業向け研修の受注が増えてきております。

以上の結果、売上高710百万円（前年同期比0.7%増）、セグメント利益36百万円（前年同期比55.6%減）となりました。

2. フィールドマーケティング事業

主にフィールド活動業務及びマーケットリサーチ等のサービスを手掛けております。当事業では、フィールド活動業務のノウハウをもとに当社独自のWebシステムを構築し、全国で主婦を中心に5万人を超える方々をネットワーク化するとともに、お客様のニーズに応じて、人材派遣など多様なサービスを提供しています。当第1四半期連結累計期間においては、新規の大型案件が順調にスタートし、また前期に本格稼働した「ラウンダー人材バンク」サービスにおいて案件規模、案件数ともに大幅に拡大しております。

今後のさらなる事業拡大に対応できる事業運営体制、管理体制を構築するため、人材やシステムへの先行投資を積極的に進めております。

以上の結果、売上高464百万円（前年同期比21.6%増）、セグメント利益43百万円（前年同期比32.7%減）となりました。

3. システム開発事業

ソフトウェアの受託開発及びお客様のパッケージ開発・カスタマイズを中心にサービスを提供しております。当第1四半期連結累計期間では既存顧客における更なる開発案件の創出と新規顧客の獲得に努めました。売上高は減少したものの、プロジェクト管理や品質管理を見直し、不採算プロジェクトを発生させない等の改善をした結果、セグメント利益では増益となりました。

以上の結果、売上高112百万円（前年同期比15.3%減）、セグメント利益2百万円（前年同期は5百万円の損失）となりました。

4. 出版事業

ビジネス書籍の企画・編集・発行事業を行っております。当第1四半期連結累計期間では新規顧客からの受注が増えた結果、好調に推移いたしました。

売上高65百万円（前年同期比69.7%増）、セグメント利益20百万円（前年同期比422.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産の状況は、

資 産 4,090百万円 (前連結会計年度末比 1.3%減)

負 債 1,024百万円 (前連結会計年度末比 9.7%減)

純資産 3,065百万円 (前連結会計年度末比 1.8%増)

となりました。当第1四半期連結会計期間末の財政状態の分析は、以下の通りです。

<資産>

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ55百万円減少し、4,090百万円となりました。その主たる要因は、受取手形及び売掛金が95百万円、仕掛品が10百万円、ソフトウェアが11百万円増加したものの、現金及び預金が151百万円、繰延税金資産が18百万円減少したことによるものです。

<負債>

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ109百万円減少し、1,024百万円となりました。その主たる要因は、未払法人税等が75百万円、短期借入金が50百万円減少したことによるものです。

<純資産>

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ54百万円増加し3,065百万円となりました。その主たる要因は、四半期純利益の計上により利益剰余金が42百万円増加したことによるものです。自己資本比率は、64.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年1月30日に公表いたしました平成27年12月期連結業績予想から修正しておりません。

なお、上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれておりません。そのため様々な要因の変化により、実際の業績はこれと大きく異なる可能性がある事をご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,677,821	2,525,823
受取手形及び売掛金	630,591	726,021
商品及び製品	82,195	84,563
仕掛品	58,405	68,739
繰延税金資産	84,818	89,506
その他	62,070	59,494
貸倒引当金	△5,979	△5,312
流動資産合計	3,589,921	3,548,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,367	50,977
減価償却累計額	△30,317	△33,861
建物及び構築物(純額)	20,050	17,116
工具、器具及び備品	201,410	208,704
減価償却累計額	△161,867	△166,036
工具、器具及び備品(純額)	39,542	42,667
有形固定資産合計	59,592	59,783
無形固定資産		
ソフトウェア	305,927	317,691
その他	7,665	6,915
無形固定資産合計	313,592	324,606
投資その他の資産		
投資有価証券	2,500	2,500
差入保証金	44,890	42,281
長期滞留債権	40,576	41,085
繰延税金資産	132,416	109,107
その他	3,000	3,000
貸倒引当金	△40,576	△41,085
投資その他の資産合計	182,806	156,888
固定資産合計	555,991	541,279
資産合計	4,145,913	4,090,114

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	213,298	218,637
未払金	146,928	190,019
未払役員賞与	17,876	17,876
短期借入金	180,000	130,000
未払法人税等	108,242	33,043
前受金	246,339	243,554
賞与引当金	23,920	53,029
役員賞与引当金	—	3,244
返品調整引当金	17,275	13,854
その他	171,021	111,132
流動負債合計	1,124,901	1,014,391
固定負債		
株式給付引当金	9,510	10,176
固定負債合計	9,510	10,176
負債合計	1,134,411	1,024,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	616,734	616,734
利益剰余金	1,430,329	1,472,724
自己株式	△259,385	△259,385
株主資本合計	2,613,742	2,656,137
少数株主持分	397,759	409,410
純資産合計	3,011,501	3,065,547
負債純資産合計	4,145,913	4,090,114

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	1,226,620	1,332,048
売上原価	740,577	815,783
売上総利益	486,042	516,264
返品調整引当金戻入額	—	695
返品調整引当金繰入額	87	—
差引売上総利益	485,954	516,960
販売費及び一般管理費	340,193	414,486
営業利益	145,761	102,474
営業外収益		
受取利息	198	263
違約金収入	—	480
保険解約返戻金	—	737
その他	95	60
営業外収益合計	293	1,541
営業外費用		
支払利息	335	221
為替差損	747	73
その他	0	—
営業外費用合計	1,083	295
経常利益	144,972	103,721
税金等調整前四半期純利益	144,972	103,721
法人税、住民税及び事業税	39,252	31,054
法人税等調整額	28,366	18,621
法人税等合計	67,618	49,675
少数株主損益調整前四半期純利益	77,353	54,045
少数株主利益	15,091	11,650
四半期純利益	62,262	42,394

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	77,353	54,045
四半期包括利益	77,353	54,045
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,262	42,394
少数株主に係る四半期包括利益	15,091	11,650

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	eセールスマネージャー 一関連事業	フィールド マーケティング事業	システム 開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	700,802	373,418	116,576	35,823	1,226,620	—	1,226,620
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,485	8,838	16,613	3,000	32,936	△32,936	—
計	705,288	382,256	133,189	38,823	1,259,556	△32,936	1,226,620
セグメント利 益又はセグメ ント損失(△)	81,791	64,727	△5,626	3,910	144,802	958	145,761

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額958千円には、固定資産の調整額が1,140千円、棚卸資産の調整額が△182千円含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	eセールスマネージャー 関連事業	フィールド マーケティング事業	システム 開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	705,924	461,625	98,628	65,870	1,332,048	—	1,332,048
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,433	3,269	14,167	—	21,870	△21,870	—
計	710,357	464,894	112,795	65,870	1,353,918	△21,870	1,332,048
セグメント利 益又はセグメ ント損失(△)	36,350	43,562	2,389	20,441	102,742	△268	102,474

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△268千円には、固定資産の調整額が△85千円、棚卸資産の調整額が△183千円含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来、「その他」に含まれておりました「出版事業」の量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載しております。また、同じく「その他」に含まれておりました「iPad等を活用した業務コンサルティング及び教育事業」については、「eセールスマネージャー関連事業」に付帯する要素が高まったため、「その他」から「eセールスマネージャー関連事業」に含めることとしました。

これにより、報告セグメントを従来の「eセールスマネージャー関連事業」、「フィールドマーケティング事業」及び「システム開発事業」の3区分から、「eセールスマネージャー関連事業」、「フィールドマーケティング事業」、「システム開発事業」及び「出版事業」の4区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。